

事業番号	15 01 19	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	子ども安全総合対策事業			担当課	部局	警察本部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	少年課		
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 1 犯罪のない安全な社会づくり		E-mail	police-shonen@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	S29 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	将来を担う子どもの非行防止及び被害少年に対する保護、少年の立直り支援等について、関係機関・団体及び地域と連携した協働作業を行うなど施策の充実を図り、子どもの安全対策、規範意識の醸成と向上、少年の非行防止及び保護支援などを推進し、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指す。	
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>少年の非行件数は3年連続で減少しているものの、人口比では成人の約4倍、共犯率は成人の約2倍、再犯率は約3割と高水準で推移している。加えて少年非行の低年齢化が進み、凶悪犯罪の発生など少年の非行情勢は厳しい状況である。</li> <li>スマートフォンの普及などによる少年に悪影響を与える情報の氾濫、児童に対する性的犯罪、いじめ問題など、少年を取り巻く環境も変化している。</li> </ul>	

県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務) 警察法、警察官職務執行法、少年法、児童福祉法、児童買春・児童ポルノ法、出会い系サイト規制法、児童虐待防止法、少年警察活動規則等	【左記の説明、根拠法令等】
県民との協働による実施: 実施中		

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが被害者となる事件を未然に防止するとともに、将来を担う少年の非行防止・健全育成活動の推進を図る。</li> <li>非行少年の立ち直り支援活動の推進を図る。</li> </ul> (H29目標: 刑法犯認知件数15,000件未満)					
	② 事業内容 (単位: 千円)					
		項目	実施方法	H26事業実績		H27
				(当初)	(決算)	(当初)
		1、スクールサポーター経費	直接	15,465	14,759	17,821
		2、少年警察ボランティア活動経費	直接	4,375	4,214	5,278
	3、子ども緊急通報装置経費	直接	826	426	793	
	4、子ども安全対策経費	直接	1,966	1,880	1,002	
	5、子どもの保護・捜査活動経費	直接	477	436	705	
	6、少年立直り支援活動経費	直接	222	179	202	
	合計		23,331	21,894	25,801	

事業コスト	区分(単位: 千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	24,967	24,958	23,331	25,801
	補正予算				
	合計(A)	24,967	24,958	23,331	25,801
	一般財源	20,988	21,006	20,224	22,667
	県債				
	国庫支出金	3,900	3,886	3,041	3,058
	その他	79	66	66	76
	決算額(B)	24,329	24,270	21,894	
概算職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	
概算人件費	83	83	83	83	
概算事業費(B(A)+C)	24,412	24,353	21,977	25,884	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27
		目標	成果	達成状況	目標
刑法犯認知件数	14,791件	(H29) 15,000件未満	13,206	達成	(H29) 15,000件未満
フィルタリング利用率の向上	78.8%	100%	78%	未達成	-
学校訪問回数	-	-	-	-	3,000回

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>非行少年の総数は989人と5年連続で減少し、統計を取り始めた昭和24年以降初めて千人以下となった。</li> <li>刑法犯認知件数は13,206件で、平成29年までに15,000件未満とする目標を早期に達成することができた。</li> <li>フィルタリング利用率の向上については、インターネットに接続可能なゲーム機や音楽プレイヤー等を利用する児童が増加しており、これらの機器のフィルタリング100%実施は不可能であるため、H27の目標から削除する。</li> </ul>
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>立ち直り支援活動を推進し、非行少年の再非行者率を低下させる。</li> <li>学校等における防犯教室、講習会等を通じて、児童・生徒のほか、特に保護者に対してインターネット利用に潜む危険性やフィルタリングの重要性と必要性を訴え利用率を高める。</li> <li>福祉犯罪を積極的に取締り、少年を取り巻く有害環境の浄化に努める。</li> </ul>